



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園

校長 井上 美保

令和8年1月8日発行

1月号

共に挑み、共に成長する一年に

校長 井上 美保

生徒の皆さん、新年あけましておめでとうございます。
冬季休業が明け、久しぶりの登校となりましたね。今日の全校集会で、皆さんの元気な笑顔に会えたことを大変うれしく思います。

12月の集会では、「休業中も規律を守り、充実した生活を送ること」「家庭で過ごす時間が増えるからこそ、自己判断と責任がより重要になる」という話をしました。冬季休業は、家族や身近な人と過ごす時間がある一方で、誘惑も沢山あったかもしれません。どんな時も自分を律し、正しい行動を選べること。常に自分を振り返り、正しい行動に徹すること。それが南大沢学園の生徒らしさです。

さて、令和8年がスタートしました。今年度も残り3か月です。

特に3年生は卒業までのラストスパートの時期です。すでに内定を得ている人は、これまで通りの生活を着実に続けてください。そして、今まさに内定を目指している人は、ここからが本当の勝負です。最後まで諦めず、全力で挑み続けましょう。努力は必ず結果につながります。自分を信じ、やり抜いてください。

今月は17期生の入学者説明会が予定されています。来年度には、皆さんの後輩が憧れの学園に入学してきます。皆さんが入学したときの新鮮な気持ちを思い出し、学習・行事・部活動のすべてにおいて、後輩の手本となれるよう全力を尽くしてください。

そして、この一年をどんな年にしたいか、一人一人が目標をもちましょう。小さな目標でも構いません。「昨日より今日、今日より明日」・・・少しずつ成長することが大切です。

本校の学校生活は、生徒が主体です。生徒会も大いに活躍をしています。仲間と励まし合い、協力しながら、皆の力で笑顔と誇りに満ちた学園を築いていきましょう。

情熱・誠実・実践

初心、忘るべからず

主幹教諭 合田 尚樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月に開催された学園祭は、900名を超える来場者が訪れ、大盛況を博しました。2・3年生のコース発表、1年生の兄弟学級での制作、教科・部活動の作品展示や舞台発表など、大変充実した内容の学園祭でした。皆さん、本当にお疲れさまでした。

今月中頃には入学者説明会が開かれ、100名の入学予定者が参加する予定です。そのため、皆さんには後輩たちを迎える準備をしてほしいと思っています。さて、その準備とは何でしょうか。

3年生は、卒業にむけて南大沢学園の振り返りに取り組んでください。その場として、2月に行われる技能競技会で学習の成果を発表してください。2年生は、次年度の最上級学年を意識し、学習や部活動、学校行事に3年生としてどうするかを考えるようにしてください。1年生は先輩としての意識をもち、後輩たちの模範となれるように、4S・スタンダードの基本を大切に、学校生活を送ってください。

格言に「初心不可忘(しょしんわするべからず)」という有名な言葉があります。言葉の意味は、誤解しがちなのですが、「初めの時の純粋な気持ちを忘れない」ではありません。「初心」とは自分にとって「至らない部分」を意味します。つまり、「自らの至らない部分を忘れずに意識し、常に謙虚な姿勢で物事に取り組む」という意味になります。

人は「自らの至らない部分を意識し、謙虚な姿勢をもつ」ことで、他者と協力することや新たな気持ちで物事に挑戦することができます。これらの行動は、本校の校訓である「情熱」・「誠実」・「実践」にも重なるとともに、実社会で求められる人材像にもつながります。

1年のはじまりの時期にあたって、皆さんには「初心を忘れずに」、日々の学習、部活動、実習などに取り組んでほしいと思っています。

「情熱」「誠実」「実践」

—校訓の趣旨—

【情熱】「一つのことを成し遂げる熱意」

“目標を設定し、目標達成のモチベーションを維持し続ける熱意を大切にすること”

【誠実】「正しい考え、正しい発言、正しい行い」

“思い考える事（良心に基づいた判断）、言う事（発言）、する事（行為・行動）の三つが一致すること”

【実践】「自分が成長するための地道な努力」

“設定した目標に向かって、必要な計画を立てて段階的に実行すること”